

工事説明書

電解還元温泉器 [ホームスパ]

販売店・工事店用

HomeSPA

■HS-A1000

はじめに

この度は、電解還元温泉器「ホームスパ」をお取り扱いいただき、まことにありがとうございます。
お客様に満足していただけますよう、工事前にこの工事説明書をよく読んでいただき、内容を十分理解されてから、記載内容にそって安全に正しい工事を行ってください。

●工事終了後は取扱説明書を参照に、機器の取り扱いおよびお手入れについてお客様に十分ご説明いただき、保証書に所定の事項をご記入の上、お客様にお渡しください。また、お客さま登録カードに必要事項をご記入の上投函して頂くようお客様にご説明願います。

●アース工事は必ず行ってください。

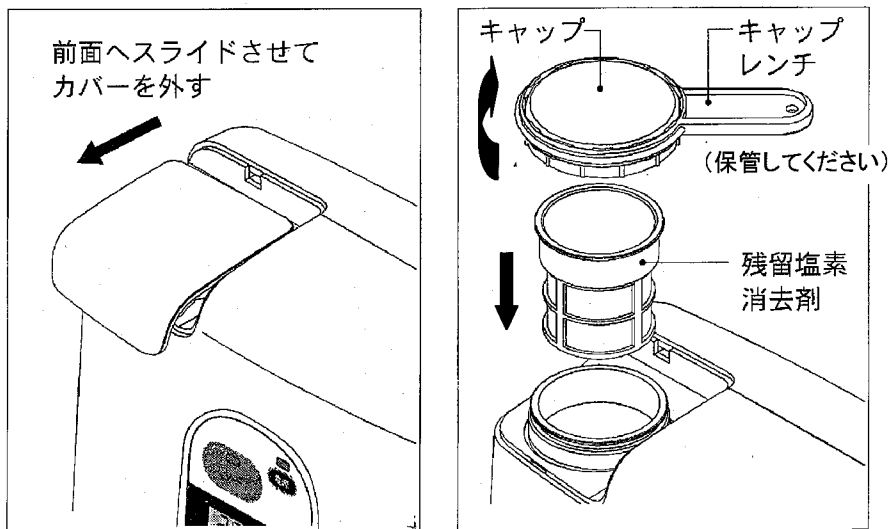
(工事が行われないと感電の原因となります)

●本機に残留塩素消去剤は組み込まれておりません。

下記手順で組み込んでください。

■残留塩素消去剤の組み込み方法について

- ①本機左上部のカバーを前方にスライドして取り外してください。
- ②専用のキャップレンチでキャップを取り外してください。
- ③同梱の「残留塩素消去剤」を箱から取り出してビニール袋を取り外し、本機に組み込んでください。
- ④同梱のキャップレンチでキャップを締め、カバーを元に戻してください。キャップレンチは今後も残留塩素消去剤交換時に使用しますので大切に保管してください。



安全情報の表示説明

この工事説明書では、安全に関する注意および内容を下記のシンボルマークで表示しています。いずれの情報も重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

	警告	取り扱いや作業を誤った場合に、人が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される場合について説明しています。
	注意	取り扱いや作業を誤った場合に、人が傷害を負うか、または物的損害のみが発生する危険が生じることが想定される場合について説明しています。
	留意	製品の性能または運転・維持管理について特に知っておいていただきたい事項や作業の要点を説明しています。
		禁止の行為であることを説明しています。
		行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

1】施工される方へのお願い

▲ 警告

	プラグ型漏電ブレーカは浴室内に設置しないでください。また浴室外でも水のかかる場所に設置しないでください。感電・火災・故障の原因となります。
	本機はシャワーや蛇口などから直接お湯や水がかかる場所に設置しないでください。感電・火災・故障の原因となります。
	電源線はシャワーの近く・浴室床上等頻繁に水やお湯のかかるところや窓・ドア等可動部に配線しないでください。また電源線の切断や傷付きが起らない様に配線してください。感電・火災・故障の原因となります。

▲ 警告

	電源線は無理な力をかけたり、破損させたり、加工しないでください。感電・火災・故障の原因となります。
	電源線は風呂釜や給湯機の排気口などの高温部の近くに配線しないでください。火災・故障の原因となります。
	電源線は他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。感電・過熱・火災・故障の原因となります。
	電源線をコンクリートやタイルなどの壁に貫通して配線する場合は、貫通部に塩ビ管などの保護材を使用してください。直接電源線を壁に貫通させると、感電・火災・故障の原因となります。
	電源電圧はAC100V以外の電圧は使用しないでください。感電・火災・故障の原因となることがあります。
	電源線はお客さまが容易に触れられないように保護材を使用したり配線場所を選んでください。感電の原因となります。
	電源線は袋に入れたり、きつく束ねたりしないでください。発熱し火災の原因となります。
	本機は約5Aの電流が流れます。使用コンセントの定格容量をご確認ください。不足の場合、ブレーカが作動したり、火災・故障の原因となります。
	本機設置時は付属の設置金具類を使用し、転落しないよう壁面の構造や強度を確認の上、確実に設置してください。また固定無しの据置設置は行わないでください。感電・故障の原因となります。
	プラグ型漏電ブレーカのアース線はD種接地工事（接地抵抗100Ω以下）のアース端子と接続してください。確実に行われないと感電の原因となります。

▲ 注意

	コンセントの差込が緩い場合はそのまま使用せず、コンセントを交換するなどの処置を行ってください。感電・ショート・火災の原因となることがあります。
	漏電ブレーカはお客さまが日常操作できる場所に設置してください。テストボタンによる動作確認が出来なくなります。
	本機の設置は入浴時に邪魔にならない場所や方法で行ってください。浴槽への出入時の怪我などの原因となることがあります。
	プラグ型漏電ブレーカの電源端子ネジは0.78~1.08N・m（8~11kgf・m）の締め付けトルクで締め付けてください。締め付けが弱いと発熱し故障の原因となります。締め付けが強いと電源端子ネジが破損する原因となります。
	プラグ型漏電ブレーカの転倒検出用端子ネジは0.59~0.74N・m（6~7.5kgf・m）の締め付けトルクで締め付けてください。締め付けが弱いと接触不良となり、転倒動作機能が損なわれます。締め付けが強いと接続部が回転したり、転倒検出用端子ネジが破損する原因となります。
	プラグ型漏電ブレーカの端子カバーは、確実に本体にはめ込んだ後に端子カバー取付ネジで締め付けてください。確実ににはめ込まないと端子カバーのネジ穴が破損し、端子カバーが閉まらなくなります。
	プラグ型漏電ブレーカの電線を外す場合は転倒検出リード線を外した後に電源電線を外してください。先に電源電線を外すと電源電線を引っ張った場合、転倒検出リード線に無理な力がかかり、転倒検出リード線が切れたり、圧着端子のカシメ部でリード線が切れる原因となります。
	電源線の配線等で壁や天井などに穴を開けた場合は、シール剤やキャップなどで防水処理を行ってください。家財、家屋等が傷む原因となります。
	本機をミストサウナなど高温高湿環境で使用しないでください。感電・火災・故障の原因となります。

留意

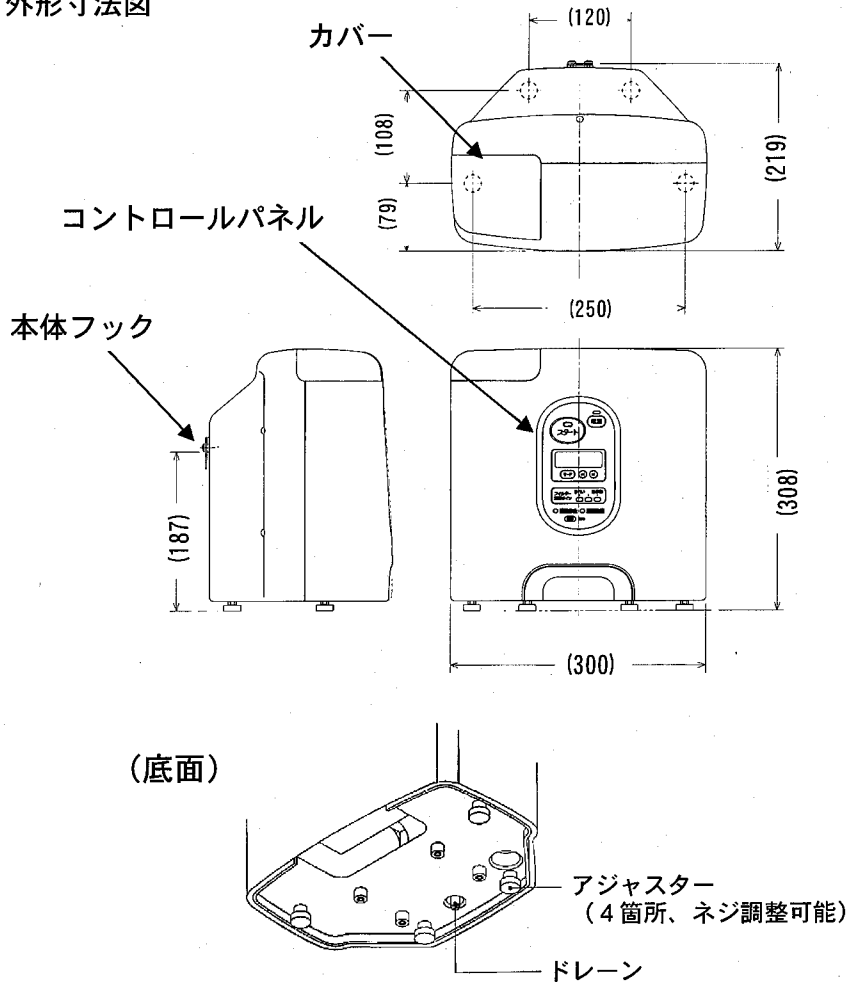
	本機は本機設置面から浴槽水面までの高さが1m以内になるような高さに設置してください。浴槽水が循環しないことがあります。
	ホースは必ず下り勾配になるように取り付けてください。また、ホースの横引きは30cm以内にしてください。浴槽水が循環しないことがあります。
	本機は標準家庭の浴槽用（湯張200L程度）として商品化された機器です。家庭用以外では使用しないで下さい。湯張量の多い浴槽で使用されると本来の性能が得られない場合があります。
	本機は水道の水質基準と同等レベル以上の水で使用してください。それ以外の水で使用された場合は、本来の性能が得られない場合があります。

2】仕様

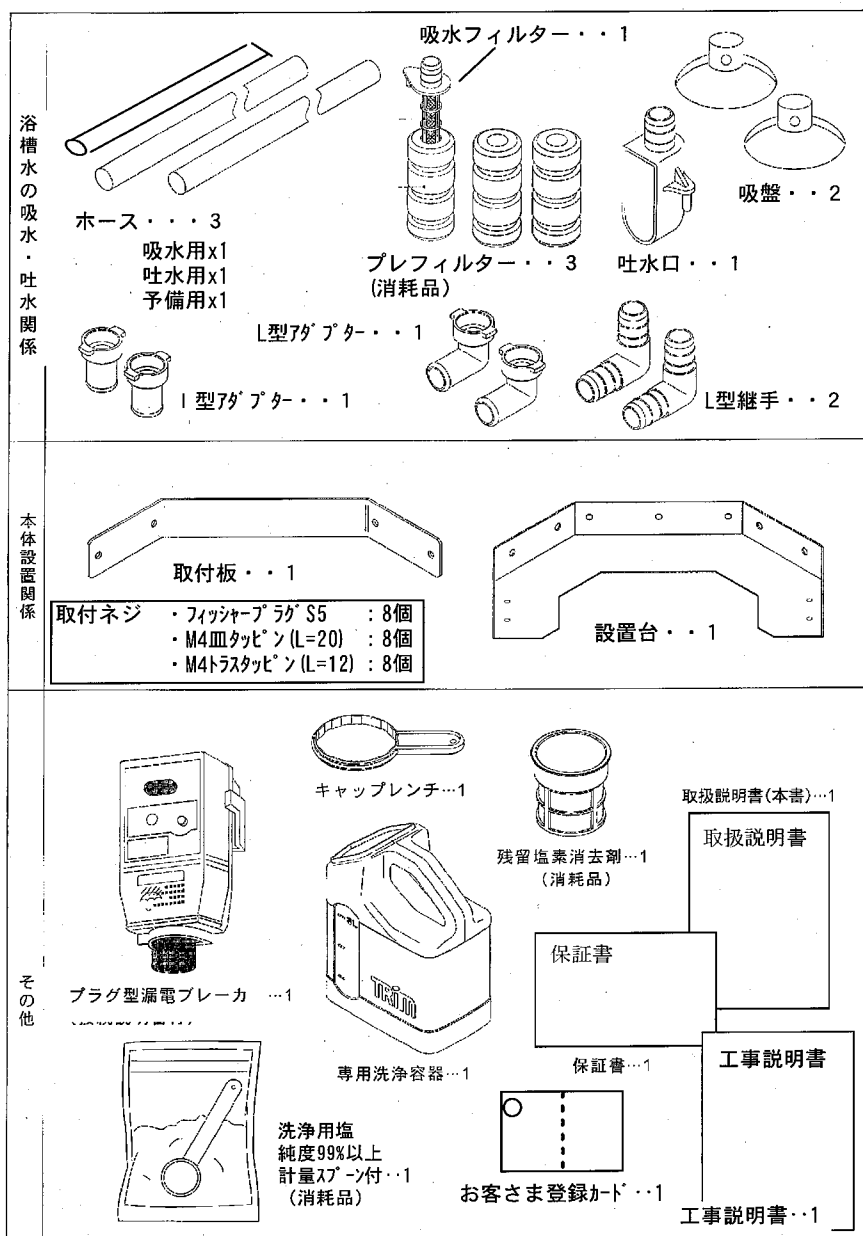
1) 製品仕様

項目	仕様
品名・形式	ホームスパ HS-A1000
定格電圧	AC100V (50/60Hz)
消費電力	約300W (MAX450W)
電解生成電圧	40V (MAX50V)
循環処理量	10L/分
定格運転時間	10分間
設置場所	室内用(浴室用)
本体質量	約6.5Kg
外形寸法	W300×H308×D219mm
水質改善	残留塩素消去剤付 (亜硫酸カルシウム添加)
本体安全装置	過電流漏電ブレーカ、ヒューズ 過熱防止、転倒時電源遮断
その他安全装置	循環水の目詰まりのお知らせ機能 浴槽水の高温(50℃以上)警告表示

2) 外形寸法図

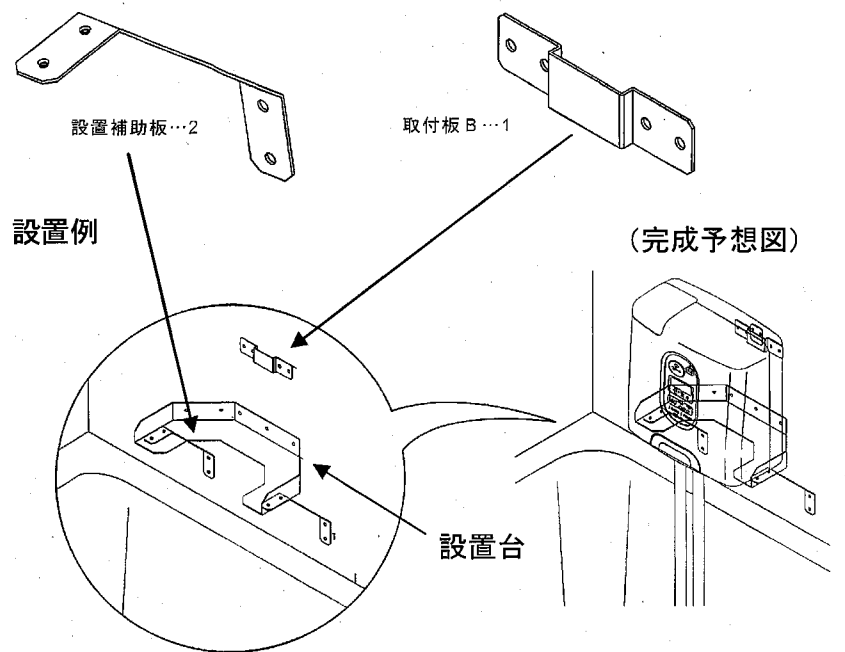


3) 付属品

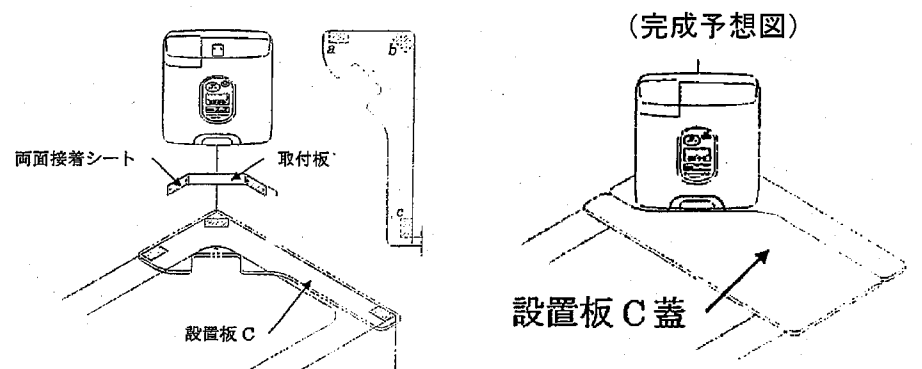


4) 別売品 (工사용部材)

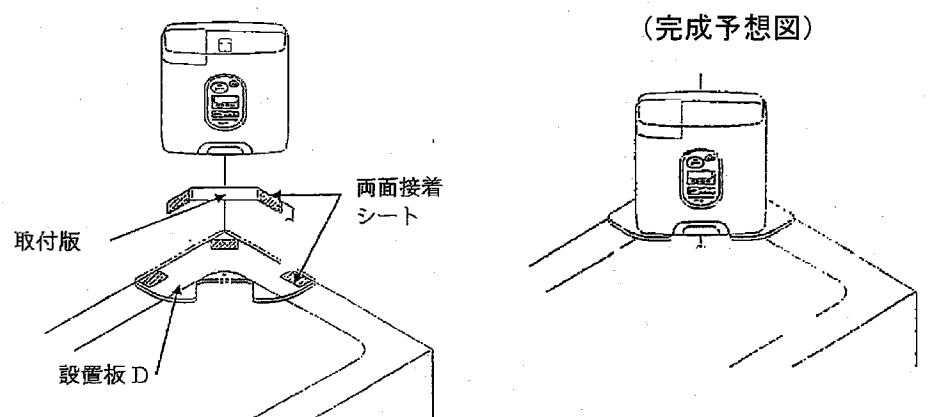
①設置補助板セット・・・浴室壁面に本機を設置するための部品



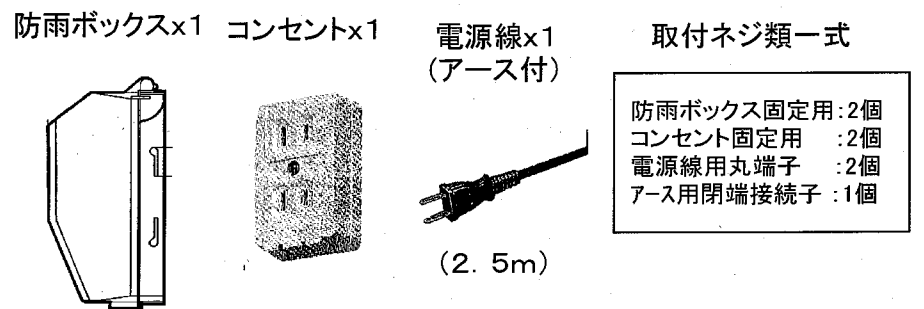
②設置板 C・蓋・・・浴槽コーナーに本機を設置するための部品



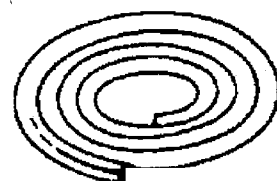
③設置板 D・・・浴槽コーナーに本機を設置するための部品 (蓋無し)



④屋外コンセントセット・・・プラグ型漏電ブレーカを屋外設置する場合



⑤ホース10m巻き・・・本機を浴槽に対して高く設置する場合など (シリコン製) (本機設置面と浴槽水面の高さは最大1mまで)



3】前準備

留意

本機を設置するにあたり、本機の取付場所、プラグ型漏電ブレーカの設置場所、電源線の配線場所や方法等について、必ずお客様とご相談の上、決定してください。

熱湯噴出し口の周辺に吸水口や吐水口がくるような場所に設置しないでください。熱により吸水口・吐水口やホースが変形・変質したり、又熱湯噴出中に運転すると本機が停止することがあります。

本機は浴室壁に直接ネジ取付します。壁強度が十分あるかどうかご確認ください。わからない場合は浴室メーカー等に問い合わせてください。

1) 本機の設置場所、方法を決めてください。

■本機の設置方法を下記①～④から選択してください。

①壁面コーナータップ (標準設置、必要部材は同梱済み)

・壁面コーナータップに浴槽上面より150～200mm上に設置する。

②壁面取付タイプ (特殊タイプで専用の別売部品が必要)

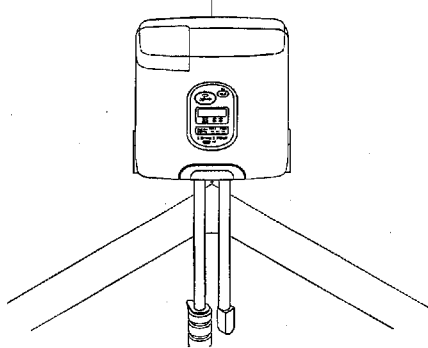
・上記Aタイプの設置が困難な場合の設置方法で浴槽上面より150～200mm上の壁に設置する。

③/④浴槽コーナータップ (特殊タイプで専用の別売部品が必要)

・上記A、Bタイプの設置が困難な場合やお客様の要望等による設置方法で、浴槽コーナータップに専用板を置いて設置する。

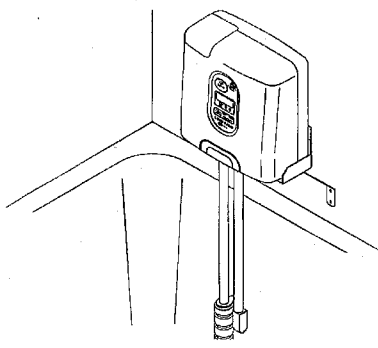
(①壁面コーナータップ)

標準設置



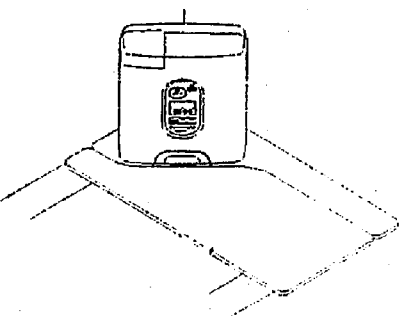
(②壁面取付タイプ)

※別途、設置補助板セットが必要



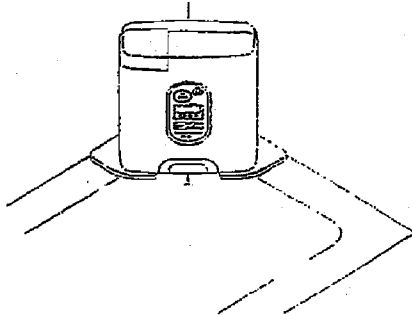
(③浴槽コーナータップ)

※別途、設置板C・蓋が必要



(④浴槽コーナータップ) 蓋無し

※別途、設置板Dが必要



2) プラグ型漏電ブレーカを差込むコンセント箇所や方法及び電源線の配線場所や方法を決めてください。

警告

プラグ型漏電ブレーカはアース端子のあるコンセントに差し込んでください。アースがないと感電の原因となります。

プラグ型漏電ブレーカを浴室内のコンセント等に接続しないでください。感電・火災・事故の原因となります。

■プラグ型漏電ブレーカを差込むコンセント箇所を下記①～③より選択してください。

尚、本機に付属の電源線長さは約7mです。本機の設置場所とコンセントの距離や配線場所を考慮の上で選択してください。

①既設の屋内コンセントに本機のプラグ型漏電ブレーカを差し込む。

②延長コードで中継して電源を取る。

③浴室外にコンセントを新たに設けて電源を取る。

※屋外にコンセントを設ける場合は、別売の「屋外コンセントセット」をご利用ください。

■電源線は水がかからない場所で切断や傷付きの恐れがなく、お客さまが容易に触れない場所に配線できるか確認してください。

3) 浴槽、床、壁などへのキズ、汚れ防止のためシートなどで養生をしてください。

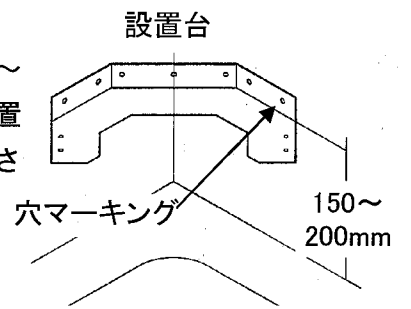
4】本機の設置

※以下は、標準設置 (壁面コーナータップ) の場合の設置方法です。

1) 設置台の取付

①設置台を浴槽上面コーナーから150～200mmの位置に水平になるように仮置きし、取付穴部をマーキングしてください。(4箇所)

②設置台を外して、マーキング位置にセンターポンチで位置出しマークを付けてください。



③取付ネジの下穴をドリルで開けてください。

取付ネジは2種類あり、壁仕様に合わせて選択してください。

尚、壁仕様によっては付属の取付ネジが適さない場合があります。

その場合は、適正品を現地で調達し施工してください。

品名	下穴	対象壁仕様 (参考)	本数
M4 トラスタッピンネジ (L=12)	φ2	鋼板を使用したユニットバス壁など	8
M4 皿タッピンネジ (L=20) フィッシャープラグS5 (L=25)	φ5	コンクリート ブロック モルタルなど	各8

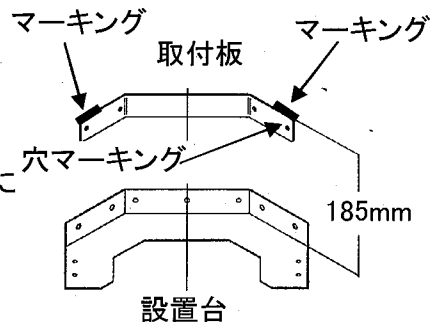
④設置台を取付ネジで仮固定した後に本締めをして固定してください。

取付ネジ穴にシリコン等でシールした後、ネジ締めしてください。

2) 取付板の取付

①設置台上面部から185mmの位置の左右にマーキングしてください。

②取付板上端部をマーキングした位置に合わせて仮置きし、取付穴部を再度、マーキングしてください。(4箇所)

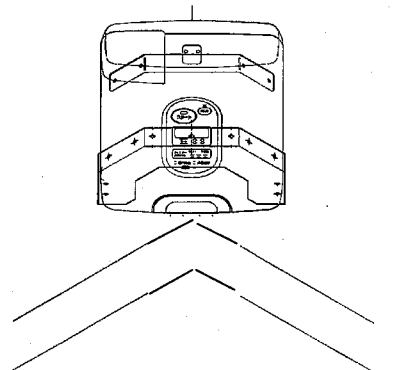


③前記1) 同様、センターポンチ位置に取付ネジの下穴を開けて、取付ネジで取付板を固定してください。取付ネジ穴はシリコン等でシールしてください。

3) 本機の仮置

①本機を仮置きして、ガタツキ等がないか確認してください。ガタツキがある場合は、底面のアジャスター等で高さ調整してください。

②本体背面の本体フックが取付板に十分かかっているか確認してください。



5】電源線の配線

1) 電源線を壁や天井などに通す場合の穴開け

警告

穴開け時、壁内部の電線、水道やガス管等を傷つけないようにしてください。感電・火災・事故の原因となります。

①壁を貫通させて電源線を通す場合は、貫通部に塩ビ管 (樹脂管) などの保護材を使用してください。保護材の内径は、電源線の外径約φ10が通る物を選択してください。

②壁や天井等に電源線を通す場合、穴開け箇所の素材や材質、深さなどにあった工具 (ドリルなど) を選定して穴開けを行ってください。

・壁貫通の場合: 保護材が通る大きさの穴を開けてください。

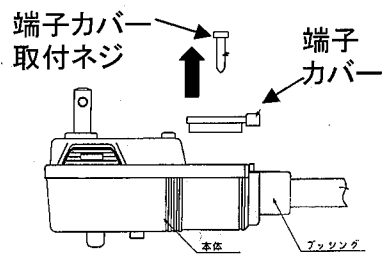
・電源線を直接通す場合: 電源線が通る穴を開けてください。

(電源線の外径は約φ10mmです。)

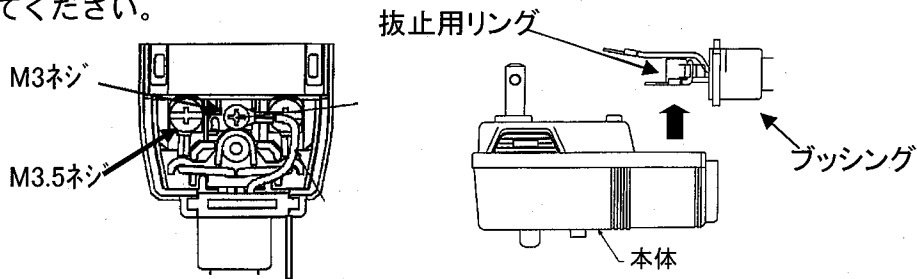
2) プラグ型漏電ブレーカから電源線の取り外し

※電源線を小さな穴で壁や天井などに通すため、プラグ型漏電ブレーカから電源線を外してください。

- ①プラグ型漏電ブレーカの端子カバー
取付ネジを外し、端子カバー、アース
線（緑）を外してください。



- ②転倒検出リード線（赤）用M3ネジ、電源線（黒と白）用M3.5
ネジの順にネジを外し、抜止用リングとブッシングごと電線を外し
てください。



- ③電源線から抜止用リングとブッシングを外し、電源線のみの状態に
してください。
（後で再組付けします。部品は無くさないでください。）

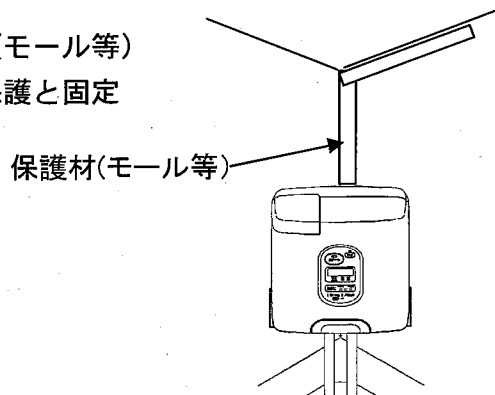
3) 電源線を壁や天井穴に通す場合

- ①壁貫通の場合は、予め塩ビ管などの保護材に電源線を通しておいて
ください。
②付属の防塵ブッシュを使用する場合は、予め防塵ブッシュにプラス
ドライバー等で穴を開け、電源線を通しておいてください。

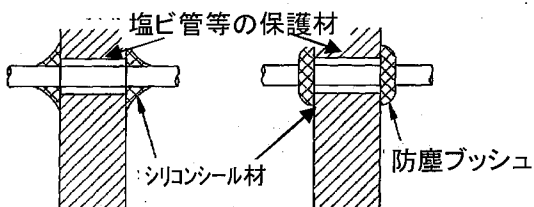
4) 電源線の配線と保護材の施工

- ①電源線の配線は本機を設置した状態で、本機側から行ってください。
尚、この時、本機側の電源線は多少たるませて、見えにくい箇所に
収まるようにしてください。（メンテサービス対応のため）

- ②電源線は浴室内外共に保護材（モール等）
を使用して、確実に電源線の保護と固定
をしてください。



- ③電源線を壁や天井等に貫通させる場合、貫通箇所にはシリコン塗布
などでシールを行ってください。

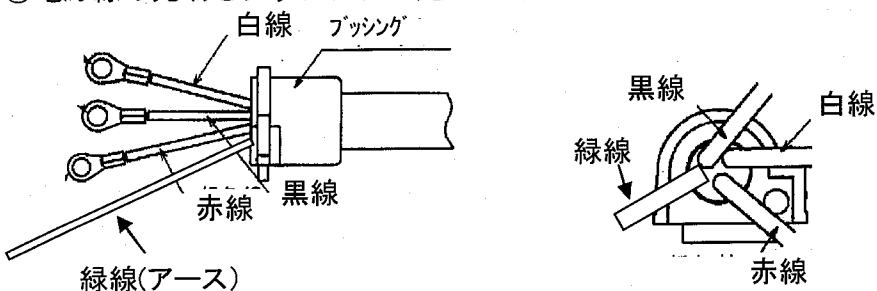


- ④プラグ型漏電ブレーカを接続するコンセント位置まで電源線を配線
し終えたら再度、電源線を漏電ブレーカに接続してください。

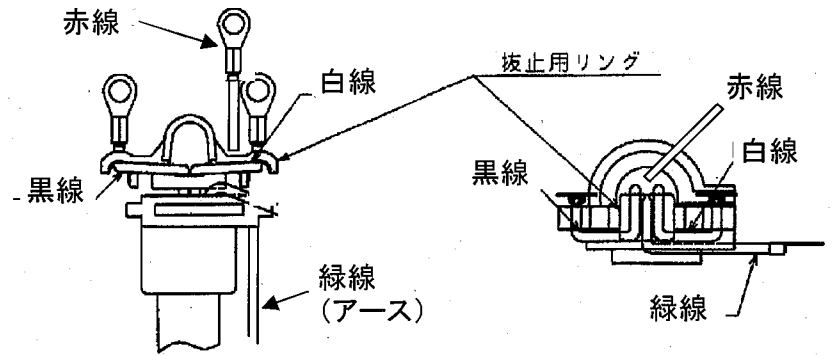
- ⑤配線後に生じた余分な長さの電源線は、大きく束ねるなどして
外部に露出させておいてください。決して、壁中や天井裏などに
束ねた状態で、置かないでください。

5) プラグ型漏電ブレーカへの電源線の再接続

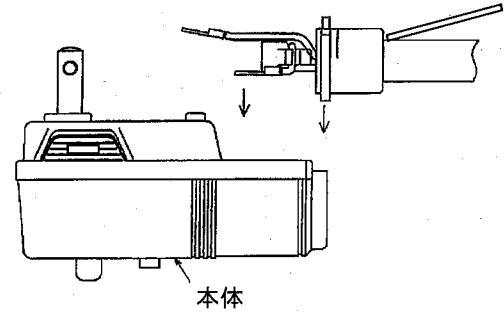
- ①電源線の先端をブッシングに通してください。



- ②抜止用リングに電源線を貫通させ電源線の形状を整えてください。



- ③ブッシングと抜止用リングを本体に挿入してください。



- ④電源線（白と黒）をM3.5ネジで固定してください。

▲ 注意

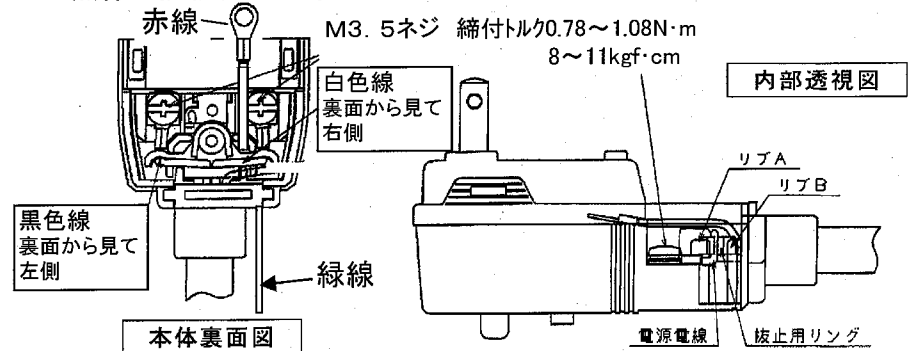
黒線と白線の接続位置を間違えないでください。誤配線の場合
正常に機能しない場合があります。

抜止用リングは、リップA及びBの間を必ず通るように挿入して
ください。正しく配線されないと抜けて正常作動しない場合が
あります。

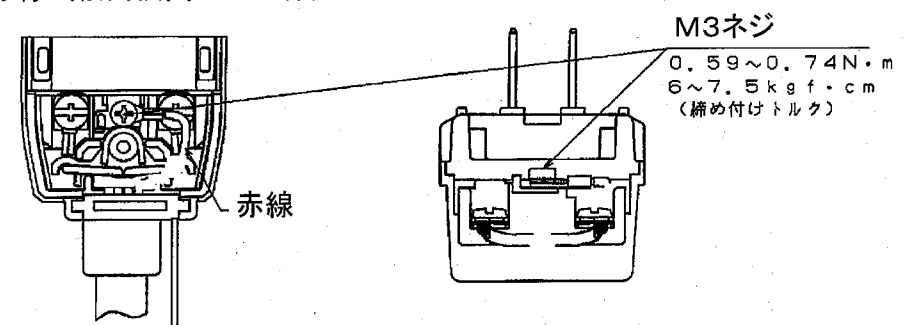
圧着用カシメ部は必ず上向きで締め付けてください。下向きの
場合、正常に作動しない場合があります。
（転倒検出リード線の場合も同様です。）



- ・白線の接続位置：本体裏面から見て右側の端子
- ・黒線の接続位置：本体裏面から見て左側の端子



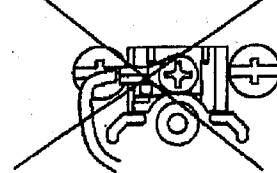
- ⑤赤線（転倒検出リード線）をM3ネジで固定してください。



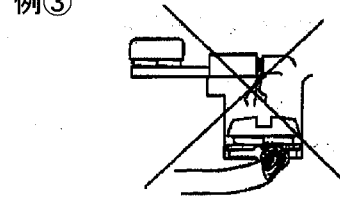
▲ 注意

良くない配線例

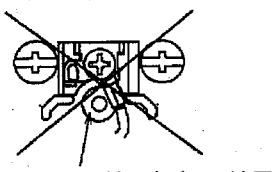
例① 圧着端子が反対向き



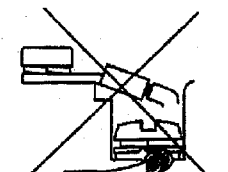
電線のかしめ不良（電線のほつれ）



例② 圧着端子が丸凹にかかっている



例④ 圧着端子が電源端子方向に曲がる

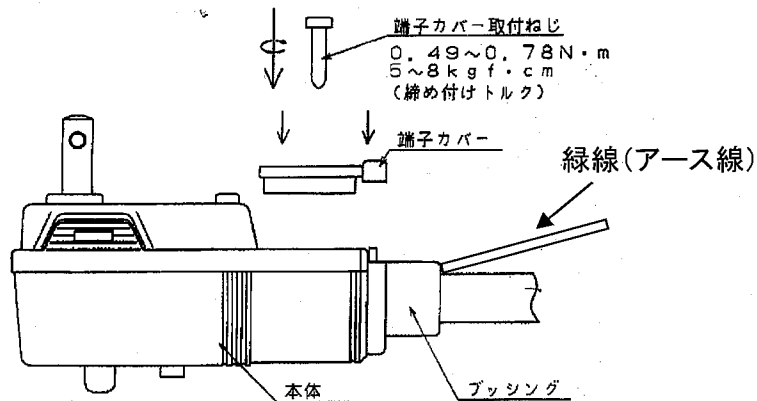


丸凹（端子カバー取付用ネジ挿入穴）

⑥緑線（アース線）をブッシングの穴に通し、端子カバーを端子カバー取付ネジで締め付けてください。

▲ 注意

端子カバー及びブッシングを確実に本体にはめ込んだ後に端子カバー取付ネジで締め付けてください。確実ににはめ込まないと端子カバーのネジ穴が破損し、端子カバーが閉まらなくなります。



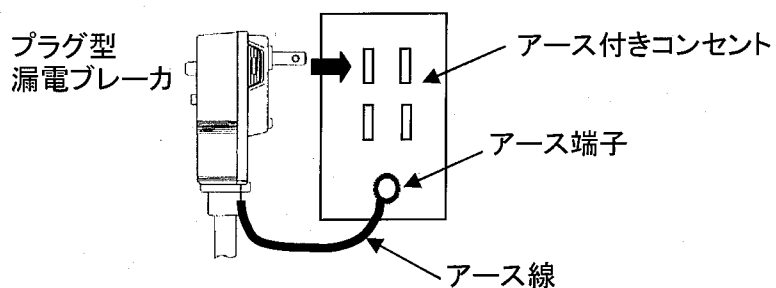
6) 緑線（アース線）の接続

▲ 警告

プラグ型漏電ブレーカのアース線はD種接地工事（接地抵抗100Ω以下）のアース端子と接続してください。確実に行われないと感電の原因となります。

①プラグ型漏電ブレーカから出ているアース線をアース付きコンセントのアース端子に接続してください。

アース端子が無い場合は、アースを新設してください。



6】ホース及び吸水・吐水口の接続

1) 吸水・吐水用ホースを浴槽に対し垂直に設置する場合

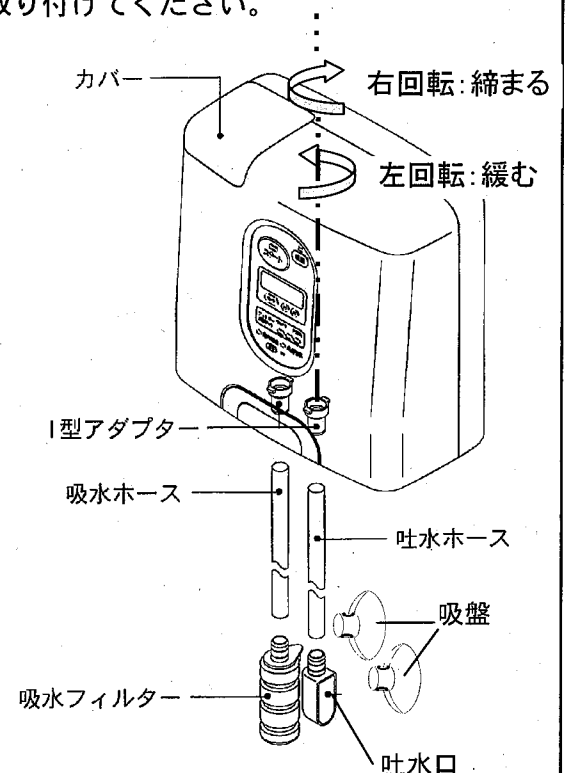
①吸水用ホースと吐水用ホースの先端にI型アダプターを挿入し、I型アダプターを本機底面の接続口に挿入後、上から見て右側に「カチッ」と音がするまで回してください。（2箇所）

②本機正面側から向かって左側の吸水用ホースの先端にプレフィルター付きの吸水フィルターを挿入してください。この時、吸水フィルターを吸盤に差込む突起が浴槽壁面側になるようにしてください。

③本機正面側から向かって右側の吐水用ホースの先端に吐水口を挿入してください。この時、吐水口を吸盤に差込む突起が浴槽壁面側になるようにしてください。また、吐水口の開放部が吸水フィルターとは反対向きになるように取り付けてください。

④吸水フィルターと吐水口を吸盤で浴槽に固定してください。

⑤ホースにねじれや折れが無いか確認してください。



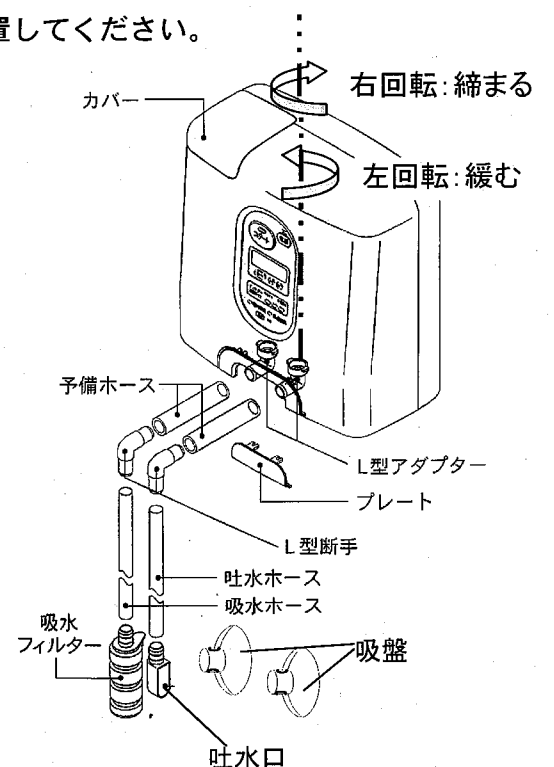
2) 吸水・吐水用ホースを浴槽に対し90°曲げて設置する場合

①本機正面下部のプレート（金色）を固定しているネジを緩めて、プレートを外してください。緩めたネジは再度締め付けてください。

②L型アダプターを本機底面の接続口に挿入後、上から見て右側に「カチッ」と音がするまで回してください。（2箇所）

③予備ホースを2分割し、それぞれの先端をL型アダプターに挿入後、L型継手をホースに挿入してください。この時、L型継手が浴槽エッジ部に位置するように切断等でホース長さを調整してください。

以降は、”1) 吸水・吐水用ホースを浴槽に対し垂直に設置する場合”の②～⑤と同様の手順で設置してください。

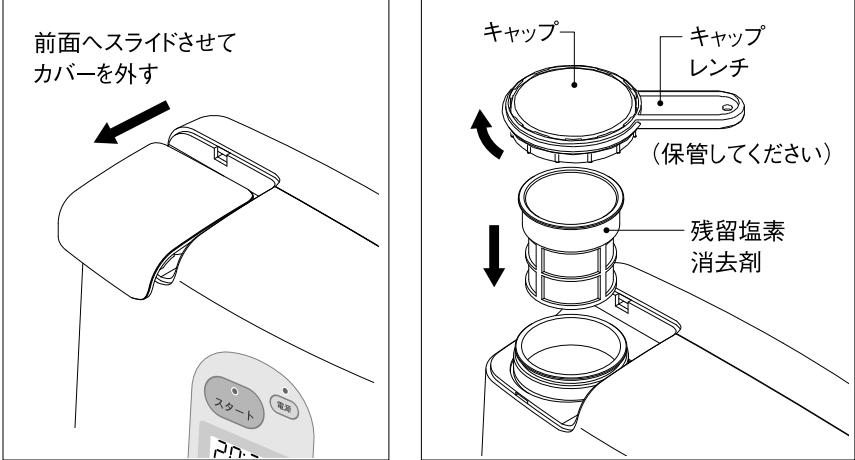


7.試運転

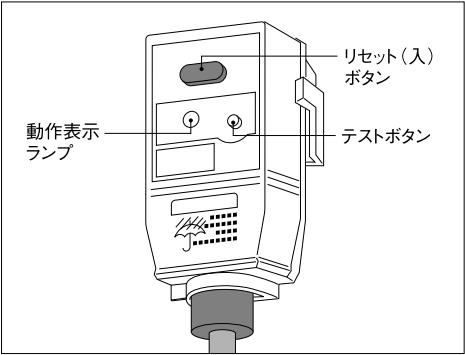
1) 残留塩素消去剤を本機に組み込んでください。

■残留塩素消去剤の組み込み方法について

- ① 本機左上部のカバーを前方にスライドして取り外してください。
- ② 専用のキャップレンチでキャップを取り外してください。
- ③ 同梱の「残留塩素消去剤」を箱から取り出してビニール袋を取り外し、本機に組み込んでください。
- ④ 同梱のキャップレンチでキャップを締め、カバーを元に戻してください。キャップレンチは今後も残留塩素消去剤交換時に使用しますので大切に保管してください。



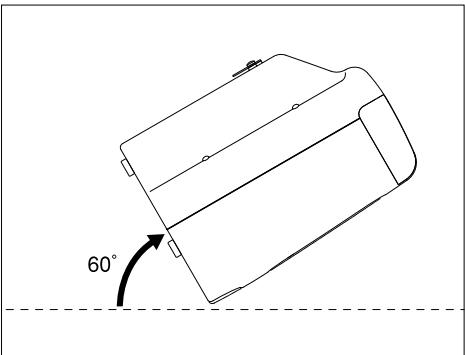
2) コンセントにプラグ型漏電ブレーカを差し込んでください。「動作表示」ランプ(オレンジ色)が点灯している時はリセット(入)ボタンを押して消してください。



- 3) 本機の電源スイッチを押して電源ランプの点灯を確認してください。
- 4) プラグ型漏電ブレーカのテストボタンを押して、「動作表示」ランプの点灯と本機の電源ランプの消灯を確認後、リセット(入)ボタンと本機電源スイッチを押してください。

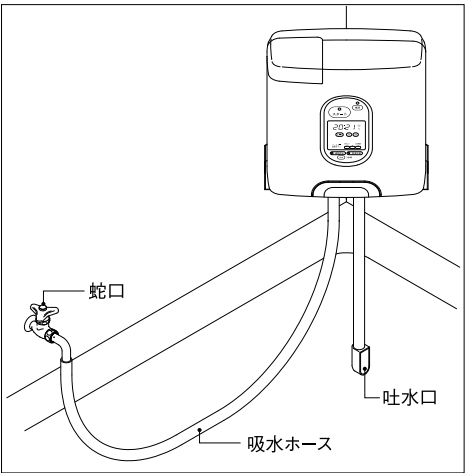


- 5) 本機を60°程度まで傾け、プラグ型漏電ブレーカの「動作表示」ランプが点灯することと本機の電源ランプが消灯することを確認してください。
- 6) 本機を水平設置に戻し漏電ブレーカのリセット(入)ボタンと本機電源スイッチを押してください。



7) 呼び水を入れてください。

- ① 吸水ホースの吸水フィルターを取り外し、水道の蛇口に接続してください。長さが足りない場合は別のホースを利用して接続してください。
- ② 水道の蛇口を開き、吸水ホースから呼び水を注入してください。吐水口から約10L流出した時点で蛇口を閉め、呼び水の注入を停止します。尚、この時に流出した水は廃棄してください。



8) 浴槽に水(お湯)を張り、取扱説明書に記載のご使用方法、お手入れ点検の方法等について、動作確認をしてください。

8.工事後の確認項目

工事完了後、次の項目についてご確認とお客様へのご説明をお願いします。

- 1) 設置に関すること
 - 設置方法・場所等について、お客様の確認は頂いておりますか。
 - 本機はしっかり確実に固定されていますか。
 - 電源線やプラグ型漏電ブレーカは安全に設置されていますか。
- 2) 試運転や運転操作に関すること
 - 試運転で不具合はありませんでしたか。
 - 操作方法について、お客様にご説明して頂けましたか。
- 3) 保証書に関すること
 - 保証書に所定の事項をご記入の上、お客様にお渡し頂けましたか。
- 4) 定期交換部品・定期点検に関すること
 - 本機を末永く安心してご使用いただくため消耗部品の定期交換や本機の定期点検が必要な旨をお客さまにご説明して頂けましたか。
 - 1) 代表的な消耗部品:残留塩素消去剤、洗浄用塩、プレフィルタ(スポンジ)
 - 2) 定期交換時期・定期点検時期の目安

項 目	期間(目安)
残 留 塩 素 消 去 剤 の 交 換	●1日1回運転の場合:約6ヶ月毎 ●1日2回運転の場合:約3ヶ月毎
洗 浄 用 塩 に よ る 洗 浄	約3ヶ月毎
プ レ フ ィ ル タ ー の 交 換	約6ヶ月毎

□ 定期交換や定期点検の方法をお客様にご説明して頂けましたか。

矢崎総業株式会社

本 社
〒108-8333 東京都港区三田1-4-28三田国際ビル17階
環境エネルギー機器本部 住設事業部 TEL 053(426)3815
〒430-0822 静岡県浜松市南区東町740番地 FAX 053(426)3885

矢崎グループ関連会社

関東ゆワイター・ソーラー(株)本 社 TEL 048(795)8551
〒337-0001 埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎1040-1 FAX 048(795)8557
埼 玉 営 業 所 TEL 048(795)8551
千 葉 営 業 所 TEL 043(253)9740
神 奈 川 営 業 所 TEL 0463(93)5471
北 関 東 営 業 所 TEL 0296(70)0002
西 東 京 営 業 所 TEL 042(541)9063
福 島 営 業 所 TEL 0247(81)2701

中部矢崎ゆワイター(株)本 社 TEL 054(289)3220
〒422-8072 静岡県静岡市駿河区小黒3-8-15 FAX 054(289)3219
名 古 屋 営 業 所 TEL 052(837)4521
浜 松 営 業 所 TEL 053(427)1417
三 重 営 業 所 TEL 0598(63)1100

西部矢崎ゆワイター(株)本 社 TEL 092(432)6801
〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊1-10-68 FAX 092(415)2230
大 阪 営 業 所 TEL 072(645)3322
岡 山 営 業 所 TEL 086(460)1802
広 島 営 業 所 TEL 082(261)8740
香 川 営 業 所 TEL 087(844)8222
松 山 営 業 所 TEL 089(956)5723
南 予 連 絡 所 TEL 0894(69)1225
高 知 営 業 所 TEL 088(828)8666
福 岡 営 業 所 TEL 092(937)4361
長 崎 連 絡 所 TEL 0956(20)1176
熊 本 営 業 所 TEL 096(367)3461
宮 崎 営 業 所 TEL 0985(39)3334
鹿 児 島 営 業 所 TEL 099(258)6917
大 分 連 絡 所 TEL 097(532)2127